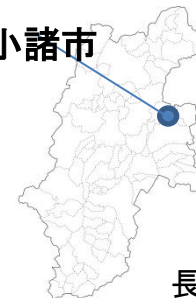


りんご畑で農業体験 「信州りんごのオーナーになろう！」

- 長野県小諸市で活動する「特定非営利活動法人 浅間山麓国際自然学校」は、自然環境を最大限に活用した良質な自然体験活動や野外活動ならびに環境教育を、自然体験型観光サービスとして提供する等により、地域社会の発展に寄与することを目的として活動を行っている。
- 活動を進めるに当たっては、小規模高齢化農業地域の小諸市で地域高齢農業者の方々を講師とすることにより、子どもと高齢者の通年を通じた交流が図られ、食文化の伝承を始め、中山間地域である同地域の生きがいつくりや地域活性化にもつながっている。
- 体験に参加した子どもたちは、花摘み、摘果、収穫、調理体験等、一連のりんごの農作業を体験し、農業に対する理解を深め、食への興味を示した。

小諸市



長野県

【取組の内容】

小諸市・御代田町に在住の、小学生及びその家族(合計80人)を対象に、地元の農業者を講師として、りんごの農業体験活動を実施。

10名で1本のりんごの木を担当し、5月から10月までに、花摘み、摘果、草むしり・クラフト、収穫、調理の計5回にわたる体験を実施。



参加者の皆さん



りんごの摘果作業



収穫したりんごを使って調理体験

【取組の成果】

半年間の一連の作業体験を通じて、りんごの成長とともに農作物を育てて収穫するまでの大変さなどを実感し、体験した子どもたちの心の成長も感じられた。難しい花摘み作業では、講師の方の丁寧なアドバイスにより全員が楽しく体験でき、また高所での作業ではお互い支え合ったり手伝いあう様子も見られた。

最後には「また来年もやりたい」という声も聞かれ、子どもたちにとって充実した農業体験の機会を提供することができた。

また、地域高齢者を講師とすることで、生きがいつくりの一助となった。

平成26年度はテーマを「山」として、登山や自然と触れ合うことを重点的に事業活動を行っているが、翌年以降は、今回の成果を活かし、多くの子供たちを対象に食育や金銭教育を含めた農業体験活動を行っていきたいとしている。